



～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体、おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査され、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので、予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

#### 【対象となる方】

2012年 12月 7日～2020年 12月 31日にご同意いただいた方で  
髄膜炎と診断された方、特に疾患のない方

#### 【研究課題名】

炎症性脳神経疾患の高次脳機能障害を引き起こす生理活性物質の探索

#### 【研究責任者】

田辺 章悟（国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 神経薬理研究部）

#### 【本研究の目的及び意義】

髄膜炎を対象に神経回路を変質させる生理活性物質の発見を目的とする。炎症性脳神経疾患における高次脳機能障害の原因が解明され、治療標的となる生理活性物質が発見されることで高次脳機能障害を回復させる新規治療法の開発に繋がる。

#### 【本研究に提供している試料・情報】

髄液

性別、年齢、診断名

#### 【研究期間】

2020年 9月 18日～2025年 7月 31日

(問い合わせ窓口)

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターバイオバンク

所属 メディカルゲノムセンターバイオリソース部

電話番号 042-346-3520

e-mail: biobank※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)